



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月10日

上場会社名 株式会社船井総研ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9757 URL <https://hd.funaisoken.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 貴之
問合せ先責任者 (役職名) グループCEO
取締役執行役員 (氏名) 春田 基樹 (TEL) 06-6232-0130
マネジメント本部本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	24,540	10.3	6,371	7.2	6,397	7.2	2,585	△36.1
2024年12月期第3四半期	22,253	7.9	5,945	20.1	5,968	19.0	4,043	17.2

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 2,630百万円(△36.4%) 2024年12月期第3四半期 4,136百万円(17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	55.77	55.10
2024年12月期第3四半期	86.06	85.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	30,735	23,115	72.7
2024年12月期	31,438	24,989	77.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 22,343百万円 2024年12月期 24,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	37.00	—	38.00	75.00
2025年12月期	—	42.00	—		
2025年12月期(予想)				43.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	33,000	7.7	8,900	6.9	8,900	5.8	6,600	10.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	50,000,000株	2024年12月期	50,000,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	3,950,540株	2024年12月期	3,639,843株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	46,355,683株	2024年12月期 3 Q	46,976,592株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11
3. その他	12
(1) 受注及び販売の状況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、米国では1月に発足した新政権の関税政策によって、企業経営や金融市場を揺るがす状況となりました。長期化するウクライナ情勢はいまだに終結が見通せない状況であり、中東情勢においては、断続的な戦闘が繰り返されており、非常に不安定な状況が続いております。日本においては、景況感は緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、先行きには慎重な見方が広まっています。設備投資は、大企業を中心に堅調な水準となっていますが、食料品価格の高騰が続き、物価上昇基調が継続しております。中小企業においては、原材料価格の高騰によるコスト増を販売価格に十分に転嫁できていない実態があり、従業員の人手不足も継続しております。コロナ禍の政府の金融支援も終了したことで倒産件数も高水準で推移するなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、2025年1月よりあがたグローバルコンサルティング株式会社と共に設立した株式会社船井総研あがたFASが業務を開始し、また同月より日本を代表するマーケターであり、多くの経営者を指導してきた神田昌典氏が率いるアルマ・クリエイション株式会社がグループインいたしました。4月には、アパレル業界における深い専門性、ウェブマーケティングにおける豊富な知見を持つ株式会社アパレルウェブがグループインいたしました。そして、7月には、M&Aコンサルティングとデューデリジェンスに強みを持つ株式会社MIコンサルティングがグループインいたしました。

そのような中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高24,540百万円（前年同四半期比10.3%増加）、営業利益6,371百万円（同7.2%増加）、経常利益6,397百万円（同7.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,585百万円（同36.1%減少）となりました。

①売上高・・・24,540百万円（前年同四半期比10.3%増加）

売上高におきましては、経営コンサルティング事業において、主力であります月次支援が増収となりました。ロジスティクス事業における物流BPOも、新規顧客開拓が着実に進行し、増収となりました。今年、複数の企業が新たにグループインしたことが売上高増加に寄与いたしました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べて10.3%増加の24,540百万円となりました。

②営業利益・・・6,371百万円（前年同四半期比7.2%増加）

営業利益におきましては、売上原価は15,064百万円（前年同四半期は13,705百万円）、販売費及び一般管理費は3,104百万円（同2,603百万円）となりました。

その結果、営業利益は前年同四半期に比べて7.2%増加の6,371百万円となりました。

③経常利益・・・6,397百万円（前年同四半期比7.2%増加）

経常利益におきましては、営業外収益は114百万円（前年同四半期は63百万円）、営業外費用は87百万円（同39百万円）となりました。

その結果、経常利益は前年同四半期に比べて7.2%増加の6,397百万円となりました。

④親会社株主に帰属する四半期純利益・・・2,585百万円（前年同四半期比36.1%減少）

親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、当社連結子会社である株式会社船井総合研究所が所有する五反田オフィス売却等に伴い、特別損失2,485百万円を計上したことにより、前年同四半期に比べて36.1%減少の2,585百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①経営コンサルティング事業

経営コンサルティング事業におきましては、主力であります月次支援の契約単価の上昇及び経営研究会会費の値上げの効果もあり、前年同四半期と比較して増収となりました。業種別で見ますと、住宅不動産業界向けコンサルティング部門、医療介護福祉業界向けコンサルティング部門が堅調に売上高を伸ばすことができました。利益面におきましては、人的資本強化のため積極的に人財投資を行いつつコストコントロールを行い、増益を確保しております。

その結果、売上高は17,806百万円（前年同四半期比10.5%増加）、営業利益は6,112百万円（同14.6%増加）となりました。

②ロジスティクス事業

ロジスティクス事業におきましては、物流コンサルティング業務が、新規プロジェクトや既存顧客からの受注が着実に積み上がり、順調に推移いたしました。また、物流企業向けコンサルティングの研究会会員数は期初から引き続き増加し、増収となりました。物流BPO業務は、既存顧客との取引が堅調に推移したことで、増収となりました。

その結果、売上高は3,406百万円（前年同四半期比10.4%増加）、営業利益は449百万円（同35.0%増加）となりました。

③デジタルソリューション事業

デジタルソリューション事業におきましては、HRソリューションにおける採用広告運用代行サービスの大型クライアントの広告予算縮小や広告掲載停止、クラウドソリューションにおける下請け型の受託案件の縮小がありましたが、ITコンサルティングにおいて、DXグランドデザイン策定からZohoCRM導入をはじめとした実装支援の案件が増加し、WEB広告運用代行も引き続き堅調に推移したため、増収となりました。利益面では、人件費を中心とした営業費用が増加したため、減益となりました。

その結果、売上高は3,327百万円（前年同四半期比9.1%増加）、営業損失は160百万円（前年同四半期は営業利益73百万円）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて703百万円減少し、30,735百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて928百万円増加し、18,685百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加、その他に含まれる未収入金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,631百万円減少し、12,050百万円となりました。これは主にのれん、投資その他の資産のその他に含まれる差入保証金の増加、土地の減少によるものであります。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,170百万円増加し、7,619百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,094百万円増加し、7,369百万円となりました。これは主に賞与引当金の増加、支払手形及び買掛金、未払金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し、250百万円となりました。これは主に長期借入金、その他に含まれるリース債務の増加によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,873百万円減少し、23,115百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の増加、剰余金処分による利益剰余金の減少、自己株式の取得による自己株式の増加によるものであります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて4.5ポイント減少し、72.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期においては「中期経営計画(2023年度～2025年度)」の最終年度として、当社グループのパーパスである「サステナブルグロースカンパニーをもっと。」の実現にむけて、パーパス浸透を推進してまいります。また、当社グループの中核事業である経営コンサルティング事業を中心に、企業の経営課題を一気通貫でサービス提供できる体制にビジネスを拡張してまいります。さらに、グループビジョンである“中堅・中小企業を中心とした「デジタル」×「総合」経営コンサルティング”を推進し、グループ内のアライアンス力を高めながら、顧客企業の経営者ニーズをとらえ、時流に即した経営コンサルティングサービスを提供してまいります。

また、2025年11月に当社グループの成長戦略である「海外ビジネスの強化」及び当社グループ全体のDX(デジタルトランスフォーメーション)を加速させるため、Funai Consulting India Private Limitedを設立しました。当該企業は、グローバル・ケイパビリティ・センター(GCC・開発案件の受託)としてグループ全体のDX推進とインド事業支援を強化することを目指します。詳細につきましては、9月26日付で当社ホームページに掲載しております「インド現地法人「Funai Consulting India Private Limited」を設立」をご覧ください。

さらに、2026年1月1日に当社の連結子会社である株式会社船井総合研究所(以下「船井総研」という。)の人的資本経営支援コンサルティング業務を、吸収分割(以下「本吸収分割」という。)により、当社の連結子会社である株式会社HR Force(以下「HR Force」という。)に承継し、本吸収分割後、HR Forceは商号を「株式会社船井総研ヒューマンキャピタルコンサルティング」に変更することにいたしました。詳細につきましては、本日公表の「連結子会社間の吸収分割及び連結子会社の商号変更に関するお知らせ」をご覧ください。

加えて、2026年1月1日に当社の連結子会社である船井総研ロジ株式会社(以下「船井総研ロジ」という。)は商号を「株式会社船井総研サプライチェーンコンサルティング」に変更することにいたしました。詳細につきましては、本日公表の「連結子会社の商号変更に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上高33,000百万円、営業利益8,900百万円、経常利益8,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益6,600百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,846,416	12,476,660
受取手形、売掛金及び契約資産	4,348,404	4,297,805
有価証券	1,203,261	1,300,744
仕掛品	199,518	239,607
原材料及び貯蔵品	6,437	14,130
その他	1,372,282	572,820
貸倒引当金	△219,478	△216,586
流動資産合計	17,756,843	18,685,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,639,515	1,373,796
土地	4,556,233	925,476
その他（純額）	311,549	644,917
有形固定資産合計	6,507,298	2,944,190
無形固定資産		
ソフトウェア	360,002	376,078
のれん	266,353	1,202,067
その他	34,700	65,390
無形固定資産合計	661,056	1,643,536
投資その他の資産		
投資有価証券	2,264,909	1,957,848
退職給付に係る資産	450,794	479,910
長期預金	2,100,000	1,600,000
その他	1,705,831	3,432,090
貸倒引当金	△7,787	△7,264
投資その他の資産合計	6,513,748	7,462,584
固定資産合計	13,682,104	12,050,311
資産合計	31,438,947	30,735,493

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	601,882	398,478
短期借入金	200,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	9,996
未払金	2,208,591	1,887,601
未払法人税等	1,170,901	1,070,569
賞与引当金	-	1,662,293
その他	1,993,587	2,090,313
流動負債合計	6,274,962	7,369,251
固定負債		
長期借入金	-	27,509
退職給付に係る負債	50,148	53,231
繰延税金負債	94,105	91,463
その他	30,219	78,390
固定負債合計	174,473	250,593
負債合計	6,449,436	7,619,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,231	3,125,231
資本剰余金	2,946,634	2,946,634
利益剰余金	25,409,643	24,280,621
自己株式	△7,276,480	△8,115,303
株主資本合計	24,205,029	22,237,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,482	205,428
為替換算調整勘定	32,868	30,413
退職給付に係る調整累計額	△162,135	△129,859
その他の包括利益累計額合計	64,215	105,982
新株予約権	720,265	756,408
非支配株主持分	-	16,072
純資産合計	24,989,511	23,115,648
負債純資産合計	31,438,947	30,735,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	22,253,766	24,540,099
売上原価	13,705,084	15,064,490
売上総利益	8,548,682	9,475,608
販売費及び一般管理費	2,603,609	3,104,328
営業利益	5,945,072	6,371,280
営業外収益		
受取利息	7,302	21,201
受取配当金	5,267	7,617
投資有価証券売却益	4,890	20,573
投資有価証券評価益	2,796	3,930
保険解約返戻金	18,284	14,357
その他	25,136	46,404
営業外収益合計	63,677	114,085
営業外費用		
支払利息	3,652	10,147
投資有価証券評価損	2,209	2,046
投資事業組合管理費	24,484	13,031
為替差損	-	2,688
寄付金	7,050	21,150
情報セキュリティ対策費	-	24,220
その他	2,580	14,413
営業外費用合計	39,976	87,697
経常利益	5,968,772	6,397,667
特別利益		
固定資産売却益	194,887	-
特別利益合計	194,887	-
特別損失		
固定資産売却損	945	-
減損損失	39,744	2,433,529
固定資産除却損	7,370	16,045
事務所移転費用	272,338	35,757
特別損失合計	320,399	2,485,333
税金等調整前四半期純利益	5,843,260	3,912,334
法人税、住民税及び事業税	2,138,799	1,902,782
法人税等調整額	△338,564	△579,466
法人税等合計	1,800,235	1,323,316
四半期純利益	4,043,024	2,589,018
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	3,572
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,043,024	2,585,445

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	4,043,024	2,589,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,752	11,946
為替換算調整勘定	△106	△2,455
退職給付に係る調整額	25,887	32,275
その他の包括利益合計	93,533	41,767
四半期包括利益	4,136,558	2,630,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,136,558	2,627,212
非支配株主に係る四半期包括利益	-	3,572

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月8日開催の取締役会に基づき、自己株式390,700株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が999,856千円増加しております。主にこの影響により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が8,115,303千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	デジタルソリューション事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
売上高						
月次支援 コンサルティング プロジェクト コンサルティング	11,030,031	—	—	11,030,031	—	11,030,031
経営研究会会費	2,181,391	—	—	2,181,391	—	2,181,391
物流コンサルティング	1,875,964	—	—	1,875,964	—	1,875,964
物流BPO	—	661,851	—	661,851	—	661,851
ITコンサルティング	—	2,422,319	—	2,422,319	—	2,422,319
SPX	—	—	109,817	109,817	—	109,817
クラウドソリューション	—	—	1,516,823	1,516,823	—	1,516,823
HRソリューション	—	—	578,251	578,251	—	578,251
その他	—	—	842,121	842,121	—	842,121
その他	1,031,942	—	2,805	1,034,748	—	1,034,748
顧客との契約から 生じる収益	16,119,329	3,084,171	3,049,818	22,253,319	—	22,253,319
その他の収益(注) 3	—	—	—	—	446	446
外部顧客への売上高	16,119,329	3,084,171	3,049,818	22,253,319	446	22,253,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	413,932	422,761	427,116	1,263,809	△1,263,809	—
計	16,533,262	3,506,932	3,476,934	23,517,129	△1,263,362	22,253,766
セグメント利益	5,332,688	332,655	73,632	5,738,977	206,095	5,945,072

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去3,821,644千円及び各報告セグメントに配分していない全社収益6,442,286千円並びに全社費用2,414,546千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの業務受託手数料、経営指導料及び不動産賃貸収入等であり、全社費用は、主にグループ運営に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	デジタルソリューション事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
売上高						
月次支援 コンサルティング	11,605,291	—	—	11,605,291	—	11,605,291
プロジェクト コンサルティング	3,009,165	—	—	3,009,165	—	3,009,165
経営研究会会費	2,197,340	—	—	2,197,340	—	2,197,340
物流コンサルティング	—	798,473	—	798,473	—	798,473
物流BPO	—	2,607,651	—	2,607,651	—	2,607,651
ITコンサルティング	—	—	449,995	449,995	—	449,995
SPX	—	—	1,767,526	1,767,526	—	1,767,526
クラウドソリューション	—	—	360,954	360,954	—	360,954
HRソリューション	—	—	747,804	747,804	—	747,804
その他	994,332	—	1,563	995,895	—	995,895
顧客との契約から 生じる収益	17,806,130	3,406,125	3,327,844	24,540,099	—	24,540,099
外部顧客への売上高	17,806,130	3,406,125	3,327,844	24,540,099	—	24,540,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	95,704	448,430	52,650	596,784	△596,784	—
計	17,901,834	3,854,555	3,380,494	25,136,884	△596,784	24,540,099
セグメント利益又は 損失(△)	6,112,575	449,140	△160,845	6,400,870	△29,590	6,371,280

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去4,275,764千円及び各報告セグメントに配分していない全社収益7,021,437千円並びに全社費用2,775,262千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの業務受託手数料、経営指導料及び不動産賃貸収入等であり、全社費用は、主にグループ運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	デジタルソリューション事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
減損損失	2,433,529	—	—	2,433,529	—	2,433,529

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	276,310千円	275,897千円
のれんの償却額	66,588千円	154,298千円

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2025年11月10日開催の取締役会において、株式の分割を行うことについて決議いたしました。詳細につきましては、本日公表の「株式分割及び自己株式取得に係る事項の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

①受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	15,156,927	+7.7	8,974,358	+9.6
ロジスティクス事業	715,227	+19.8	360,890	+20.5
デジタルソリューション事業	1,232,233	+46.9	1,162,360	+383.5

- (注) 1 経営コンサルティング事業については、月次支援及びプロジェクトの経営コンサルティング収入についてのみ記載しております。
- 2 ロジスティクス事業については、物流コンサルティング収入についてのみ記載しております。
- 3 デジタルソリューション事業については、ITコンサルティング収入及びクラウドソリューション収入についてのみ記載しております。
- 4 金額は販売価格で表示しております。

②販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	17,806,130	+10.5
ロジスティクス事業	3,406,125	+10.4
デジタルソリューション事業	3,327,844	+9.1
合計	24,540,099	+10.3

- (注) 1 販売実績は、外部顧客に対する売上高を表示しております。
- 2 総販売実績に対して10%以上に該当する相手先はありません。